

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	須田
全体計画						経費区分		義務的経費		内線	3644
事務事業名	4282 私立保育所運営助成事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費									
	事業	040000 私立保育所運営助成事業									
事業目的						事業概要・効果					
私立保育所の円滑なる運営保育内容の向上						市内の9私立保育所、認定こども園、小規模保育事業所が実施する保育士配置基準を緩和するための保育士雇用及び特別支援のための加配保育士の雇用等に対し、補助金を交付し運営の安定及び保育内容の充実を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
補助総額 42,871,000円	補助総額 143,616,471円
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
補助総額 70,170,312円	補助総額 73,731,933円
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
補助総額 88,913,000円	

指標名		病児保育実施						
算式							単位	か所
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	1	1	1	1			
	実績	1	1	1				
指標選定の理由		-						
最終年度目標の根拠		-						
指標名								
算式							単位	
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								
指標名								
算式							単位	
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		73,732	88,913
特定財源	国庫支出金	9,596	11,521
	都道府県支出金	22,182	27,517
	地方債	0	0
	その他	0	5,000
一般財源		41,954	44,875
人員数(人)	正規職員	0.3	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	4,222.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	4,222.2
市民一人当たりの経費		1.4	1.8
総額		75,843.1	93,135.2

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	70,283	私立保育園に対する補助金 70,283
その他	3,449	国庫補助返還金(子ども子育て支援体制総合推進事業) 3,449

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	88,913	私立保育園に対する補助金 88,913
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育需要の増加に伴い、私立保育所等の安定的な運営及び、保育内容の充実のために支援は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	私立保育所等へ補助金を交付することで私立保育園等の安定的な運営が図られ、保護者の保育ニーズへの対応ができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	保育の需要に対応するため、また、補助基準が定められているためコスト削減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
国・県等の補助金を活用し、私立保育所等の支援を行なうことで保護者の保育ニーズに対応ができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>国の新たな制度（誰でも通園（仮称））拡充と引き続き市全体の保育需要に必要な事業費であり、ますます国の施策の拡充が予想されるが、費用対効果を検討しながら継続する。</p>		<p>保育需要及び国の新たな制度拡充等に対応するため、民間保育施設の安定的な運営支援は必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	宮川
	全体計画	令和 3年度	～ 令和 5年度	経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4284 家庭児童相談事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費					
	事業	050000 家庭児童相談事業					
事業目的				事業概要・効果			
家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化や虐待防止等、家庭児童福祉の向上のため、家庭児童相談員による専門的な相談業務等を行う。				家庭児童相談員を配置し、きめ細やかな寄り添った支援を実施する。 教職員及び年長児童とその保護者に対してCAPワークショップを実施し、児童虐待防止強化を図る。 要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。 養育支援が必要である家庭に対し、安定した養育を可能とするため、訪問支援者を派遣し、相談及び支援（養育支援訪問事業）を実施する。 保護者が児童を養育することが一時的に困難となった場合に、当該児童を児童福祉施設において一定期間養育を行うショートステイ事業を実施する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
家庭児童相談員 2名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。	子ども家庭支援員 3名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
子ども家庭支援員 3名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。	子ども家庭支援員 3名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
子ども家庭支援員 3名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。	子ども家庭支援員 3名 児童の発達相談及び児童虐待防止対応のため、相談業務の実施。要対協の調整機関として関係機関との連携を図る。人権教育プログラム（CAPワークショップ）、養育支援訪問事業、ショートステイ事業の実施。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		10,725	18,255
特定財源	国庫支出金	2,854	4,032
	都道府県支出金	970	157
	地方債	0	0
	その他	19	19
一般財源		6,882	14,047
人員数(人)	正規職員	1.3	3.6
	会計年度(フル)	2.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.2
人員コスト	正規職員	9,148.1	25,333.2
	会計年度(フル)	7,162.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	353.8
	計	16,310.1	25,687.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.8
総額		27,035.1	43,942.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	972	CAP研修講師謝礼 972
10節 需用費	82	CAP研修テキスト代 82
12節 委託費	966	養育支援訪問事業委託料(家事・育児支援)62、子育て短期支援事業(ショートステイ事業)委託料112 家庭児童相談システム 792
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4	家庭児童相談員連絡協議会負担金4
その他	8,701	家庭児童相談員給料4,721、職員手当等1,636、共済費1,234、保護者ワーク託児手数料10 その他1,100

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,199	CAP研修講師謝礼1,056 その他 143
10節 需用費	112	CAP研修テキスト代80 印刷製本32
12節 委託費	5,636	養育訪問支援事業委託料(家事・育児支援ヘルパー委託)474 子育て短期支援事業(ショートステイ)委託料324 相談システム4,838
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	123	家庭児童相談員連絡協議会負担金4、虐待対応研修会負担金9、子ども家庭ソーシャルワーカー110
その他	11,185	会計年度給料4908、職員手当等2115、共済費1444、旅費201、手数料18 その他 2499

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化や児童虐待防止等、家庭児童福祉の向上のため、専門的な職員による相談支援、事業実施が大切である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	相談支援や事業実施することで、子どもの健全育成への支援、要保護児等へ適切な支援につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業の性格上、コスト削減は困難である。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

児童虐待対応ケース数の年々増加(令和2年52件、令和3年度52件、令和4年度71件)があり、専門的な職員による相談対応が必要である。
 ケース数の増加に合わせて、ケース内容をシステム上で管理することによりケースの支援状況を把握することができる。
 今後は統計資料や報告等への業務負担の軽減につなげていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>ケースの増加もあり、引き続き適切な対応と支援をしていく。 子育て家庭への支援は、国全体としての取り組みとなっている。</p>		<p>増加するケースにきめ細やかに対応するため、専門性の向上、支援事業の充実による体制づくりの推進と併せてシステム導入による負担軽減等により効果的な支援を実施していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮川
	全体計画		平成27年度	～	令和 2年度	経費区分		—		内線		3622
事務事業名	12602 すこやか相談事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費										
	事業	070000 すこやか相談事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達の状況を早期に把握し、発達障がいと思われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。</p>						<p>平成18年度から子ども課に専任のコーディネータを配置し「すこやか相談事業」を実施。5歳児全員のアンケート調査（保護者・クラス担任）を基に各園を巡回する中で、個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室へ繋げるなど早期支援を行う。併せてアンケートで児童の心配な点を上げてきた保護者全てに、スタッフから、現在の児童の姿を伝えるなど保護者への支援も実施。小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、小学校へ引き継ぐとともに巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援ができる。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		7,103	8,867
特定財源	国庫支出金	0	3,650
	都道府県支出金	0	1,410
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,103	3,807
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	会計年度(フル)	2.2	2.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,629.6	6,333.3
	会計年度(フル)	7,878.2	7,878.2
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	13,507.8	14,211.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		20,610.8	23,078.5

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	195	臨床心理士謝礼165、すこやか相談研修会講師謝礼30
10節 需用費	50	すこやか教室教材費45 その他 4
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,858	すこやか相談センター及び相談員給料4,811、職員手当等975 共済費1,066、旅費2、便料5

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	195	臨床心理士謝礼 165、すこやか相談研修講師謝礼 30
10節 需用費	50	すこやか教室教材費 50
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,622	すこやか相談センター及び相談員給料4,984、職員手当等2,155、共済費1,461、旅費17、郵便料等5

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達の状況を早期に把握し、発達障がいと思われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行うため大切である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	5歳児童全員を把握し、個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室へつなげるなど早期支援を実施し、小学校に入学後も個別配慮・支援が必要と思われる児童については、小学校とも連携している。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添った継続支援につながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	児童の発達年齢に応じた細やかな継続支援を行ため、コスト削減は困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
5歳児童全員にアンケート調査（保護者・クラス担任）を基に各園を巡回する中で個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室などの支援につなげているが、児童の発育発達支援とともに保護者へのフィードバック方法等検討していく必要がある。また、巡回方式での支援のあり方についても今後検討が必要である。

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木
	全体計画						経費区分		部局長裁量枠		内線	3642
事務事業名	4288 保育所管理事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	事業	020000 保育所管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公立保育園の管理運営						公立保育園の維持管理の管理運営経費						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
保育所施設修繕 1,000,000円 借上料 9,105,000円等	保育所施設修繕 5,184,679円 借上料 8,671,587円等
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
保育所施設修繕 4,338,177円 借上料 8,558,638円等	保育所施設修繕 8,880,160円 借上料 8,262,566円等
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
保育園施設修繕 2,300,000円 借上料 8,024,000円	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		61,129	68,571
特定財源	国庫支出金	509	0
	都道府県支出金	509	0
	地方債	0	0
	その他	42,833	457
一般財源		17,278	68,114
人員数(人)	正規職員	2.4	2.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	8.3	12.2
人員コスト	正規職員	16,888.8	18,296.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	14,682.7	21,581.8
	計	31,571.5	39,878.0
市民一人当たりの経費		1.8	2.1
総額		92,700.5	108,449.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	42,367	消耗品費270、燃料費2,734、電気15,360、ガス7,209、水道4,545、下水3,369、修繕8,880
12節 委託費	2,992	電算委託339、保守点検417、その他1,881、シルバー人材委託355
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	691	日本スポーツ振興負担金320、保育園連盟負担金136、会議負担金235
その他	15,079	賃借料8,263、手数料3,760、他3,056

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	43,178	燃料費3,260、光熱水費37,618、修繕2,300
12節 委託費	11,818	電算委託340、保守点検417、その他10,461、シルバー人材委託600
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	815	日本スポーツ振興負担金355、保育園連携負担金150、会議負担金310
その他	12,760	賃借料8,024、手数料4,236、その他500

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育が必要な児童の受け入れには公立保育園の適切な管理は必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保育が必要な児童を公立保育園で受け入れることで、保護者の就労等に非常に有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	保育の質と効率性について十分考慮している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

保護者の就労に必要な不可欠な保育施設管理ができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>世帯のあり方や、働き方の変化から、ますます保育需要は拡大されるなかで、ICTの導入を含め、管理体制を強化していく。市全体のあり方を検討していく。</p>		<p>施設の適正な維持管理と併せてICTの導入など職員の負担軽減に努め、安全安心な保育事業を実施する。市全体の資源のさらなる効果的な活用に向けあり方を検討していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木
全体計画						経費区分		部局長裁量枠		内線	3642
事務事業名	4289 通常保育事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費									
	事業	030000 通常保育事業									
事業目的						事業概要・効果					
保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。						保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
保育の実施予定延児童数11,300人	保育の実施延児童数10,796人
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
保育の実施延児童数10,309人	保育の実施延児童数10,105人
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
保育の実施延児童数10,100人	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		470,526	605,160
特定財源	国庫支出金	0	1,017
	都道府県支出金	4,810	3,232
	地方債	0	0
	その他	64,497	121,292
一般財源		401,219	479,619
人員数(人)	正規職員	57.6	62.9
	会計年度(フル)	60.0	56.9
	会計年度(パート)	56.3	136.6
人員コスト	正規職員	405,331.2	442,627.3
	会計年度(フル)	214,860.0	203,758.9
	会計年度(パート)	99,594.7	241,645.4
	計	719,785.9	888,031.6
市民一人当たりの経費		22.8	28.5
総額		1,190,311.9	1,493,191.6

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	31	謝礼31
10節 需用費	87,169	消耗品費13,407、食料費75、印刷製本費586、賄材料費73,031、医薬材料費70
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	234	バス遠足負担金59、保育園通園費補助金175
その他	383,092	フルタイム人件費他383,092

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	35	謝礼35
10節 需用費	95,632	消耗品費13,200、食料費80、印刷製本費272、賄材料費82,000、医薬材料費80
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	349	バス遠足負担金60、保育園通園費補助金289
その他	509,144	フルタイム人件費他509,144

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育が必要な児童の受け入れには公立保育園での保育は必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保育が必要な児童の受け入れには公立保育園での保育は大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	公立保育園での保育に関しては、保育の質と効率性を得バランスを取りながら実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）

保育が必要な児童を公立保育園で受け入れることで、増加する保育需要に対応することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>世帯のあり方や、働き方の変化から、ますます保育需要は拡大されるなかで、未満児保育を含め市全体のあり方を検討していく。</p>		<p>少子化が進んではいるが、子育て世帯の働き方の変化から特に未満児における保育需要が増加、大変苦慮しながらも職員確保に努め、適切な保育事業に繋げている。市全体の資源のさらなる効果的な活用に向けあり方を検討していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	鈴木
	全体計画			経費区分	部局長裁量枠	内線	3642
事務事業名	4290 特別保育事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費					
	事業	040000 特別保育事業					
事業目的				事業概要・効果			
保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。				保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応により地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
延長保育延児童数 1,394人 特別支援保育 33人 一時保育 132人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定	延長保育延児童数 1,394人 特別支援保育 16人 一時保育 431人 乳児保育 426人 病後児保育 788人
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
延長保育延児童数 1,109人 特別支援保育 22人 一時保育 365人 乳児保育 436人 病後児保育 699人	延長保育延児童数 1,000人 特別支援保育 27人 一時保育 465人 乳児保育 440人 病後児保育 700人
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		98,588	136,786
特定財源	国庫支出金	7,153	7,355
	都道府県支出金	13,421	13,623
	地方債	0	0
	その他	3,776	1,894
一般財源		74,238	113,914
人員数(人)	正規職員	3.4	5.3
	会計年度(フル)	5.2	3.1
	会計年度(パート)	57.2	27.3
人員コスト	正規職員	23,925.8	37,296.1
	会計年度(フル)	18,621.2	11,101.1
	会計年度(パート)	101,186.8	48,293.7
	計	143,733.8	96,690.9
市民一人当たりの経費		4.6	4.5
総額		242,321.8	233,476.9

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,418	消耗品費946、食糧費134、賄材料費338
12節 委託費	4,031	体育指導198、英語指導3,815、医療的ケア児看護業務18
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	17,409	病児等保育負担金17,409
その他	75,730	パート職員人件費等75,730

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,455	消耗品費968、食糧費137、賄材料費350
12節 委託費	4,645	体育指導198、英語指導3,947、医療的ケア児看護業務500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	22,067	病児等保育負担金22,067
その他	108,619	パート職員人件費等108,619

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	延長保育や一時保育などの保育は必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	病児保育などは民間に委託して実施することは、保育を必要とする保護者にとっては大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	病児保育などは民間に委託して実施することで、効率的に実施されている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

通常保育事業ではカバーできない保育需要に対して、個別支援する等により保護者の保育ニーズに対応することができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
世帯のあり方や、働き方の変化から、ますます保育需要は拡大されるなか、特性のある子も増加しつつあり、子どもと家庭に寄り添った支援を継続する。		保育需要が高まる中、支援を必要とする児童も増加しつつある。親子に寄り添いきめ細やかな対応ができるよう保育士確保に努め支援していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木 洋一
全体計画	令和 6年度 ~ 令和 8年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3642		
事務事業名	17687 保育所施設整備事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費									
	事業	050000 保育所施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
須坂東部保育園の老朽化に伴い、大規模改修を行う。 。						平成12年度開園の須坂東部保育園が、老朽化により改修を必要とすることから、大規模改修の実施により改善し、施設の延命を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
保育園ネットワークカメラ設置 公立10園 保育園ICTシステム導入 公立10園	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		0	24,615
特定財源	国庫支出金	0	9,857
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	3,200
	その他	0	0
一般財源		0	11,558
人員数(人)	正規職員	0.0	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	4,222.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	4,222.2
市民一人当たりの経費		0.0	0.6
総額		0.0	28,837.2

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,600	保育園ネットワークカメラ設置委託3,600
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,015	保育園ICTシステム等21,015

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	-	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	-	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	-	

振り返り（決算年度の取組み課題）
-

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
-		-	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	窪田
	全体計画			経費区分	-	内線	3645
事務事業名	4292 子育て就労総合支援センター管理運営事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030204 民生費・児童福祉費・子育て就労総合支援センター費					
	事業	020000 子育て就労総合支援センター管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域社会全体で子育てを支援する基盤の形成を図るとともに、子育て世代への育児及び就労の支援、並びに新たな市民の交流と働き方をの場を提供し、にぎわいを創出する。				子育て支援の拠点施設として、子育て家庭が抱える育児不安等の相談窓口となり、育児支援のための各種講座を開催。 また、保護者の繋がりを支援するための集いの場の提供、子育てサークル等の活動に対して育成・支援を行うなど子育て家庭のニーズに沿った事業を行い、子育て家庭全般の支援を実施している。 ファミリー・サポート・センター事務局を置き、地域全体で子育て家庭を支え合う基盤づくりに努めている。 2022. 6. 1から（株）Goolightへ指定管理委託。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中央児童センター内 地域子育て支援拠点 子育てに関する相談支援 各種子育て講座やイベントを開催 移動式エアコンの設置	中央児童センター内 地域子育て支援拠点 子育てに関する相談支援 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパパ、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
中央児童センターから須坂駅前ビルシルキーへ移転 研修派遣で所長（園長級）職員を市から派遣 子育てに関する相談支援及び各種イベント実施。 就労支援セミナー等イベント実施。多世代交流イベントの開催。	地域子育て支援拠点 研修派遣で所長（園長級）職員を市から派遣 子育てに関する相談支援及び各種イベント実施。 子育て世代を対象とした就労支援セミナー等イベント実施。多世代交流イベントの開催。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
地域子育て支援拠点 研修派遣で所長（園長級）職員を市から派遣。 子育てに関する相談支援及び各種イベント実施。 子育て世代を対象とした就労支援セミナー等イベント実施。多世代交流イベントの開催。	指定管理者と協議の上実施。 子育てに関する相談支援及び各種イベント実施。 子育て世代を対象とした就労支援セミナー等イベント実施。多世代交流イベントの開催。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		90,779	108,417
特定財源	国庫支出金	34,703	42,784
	都道府県支出金	4,934	4,534
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		51,142	61,099
人員数(人)	正規職員	0.3	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	3,518.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	3,518.5
市民一人当たりの経費		1.8	2.1
総額		92,890.1	111,935.5

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	424	修繕 424
12節 委託費	75,000	指定管理委託料 75,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	15,355	子育て就労支援協議会負担金 9217 補助金(子育て応援・職場改善) 6138
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,000	修繕料1,000
12節 委託費	75,000	指定管理委託料 75,000
14節 工事請負費	917	子育て支援センターフィルム貼付 917
18節 負担金補助及び交付金	31,500	協議会負担金 16,500 補助金（職場改善） 15,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	子育て支援センターが子ども子育て支援事業計画において地域子育て支援拠点事業や子育て短期支援事業（ファミリーサポートセンター）に位置づけられ、公共性も高く、複合施設である子育て就労総合支援センターでも駅前の立地を生かした賑わい創出施設として年間来場者数10万人も超え世代を超えた「居場所」となっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	KPI（事業目標）を33,000人の来場者としているが、2023年度は10万人を超え、子育て支援センターの利用については、15000人を超える（親：7148、子：8465）利用者があり認知度ともにあがっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	地方創生関連交付金事業の2か年目にあたり、3年目にあたる2024年度において検証をおこないたい	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域子育て支援拠点としての位置づけだけでなく、駅前の賑わい創出、また、地域情報発信の拠点と複合的施設であり、公共の重要性だけではない、新しい業態としての側面もあるため注目をいただいている当施設であるが、開設から2年目にあたり、成果だけでなく周辺施設との連携や子育て支援の国の拡充など今後の課題や展開についても指定管理者とともに検討してまいりたい。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>親子・家庭に対する相談・親子の居場所として支援をしていく。 子育て家庭への支援は、国全体としての取り組みとなっている。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>子育て世帯への子育てと就労を両輪とした支援と駅前の賑わい創出を目的に、利用者のニーズや集客に向けた多面的な事業を実施し事業目標（KPI）を超える来場者を達成した。引き続き効果を検証しながら事業継続していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
	全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	15065 児童センター・児童クラブ指定管理事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費										
	事業	020000 児童センター・児童クラブ指定管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
児童健全育成事業、放課後児童健全育成事業を実施するため、3児童センター、8地域児童クラブの管理・運営を行う。						児童健全育成事業、放課後児童健全育成事業を実施するため、指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理・運営を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営が図られた。	指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営が図られた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営が図られた。	指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営が図られた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
指定管理者選定のプロポーザルを実施する。 指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営を図る。	指定管理者に南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターと放課後児童クラブの管理運営を委託し、適切な管理運営を図る。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		139,050	142,115
特定財源	国庫支出金	18,249	21,407
	都道府県支出金	18,249	21,407
	地方債	0	0
	その他	19,056	19,302
一般財源		83,496	79,999
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,111.1	2,111.1
市民一人当たりの経費		2.7	2.8
総額		141,161.1	144,226.1

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	139,050	指定管理委託料139,050
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	142,115	指定管理委託料142,115
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童健全育成事業、児童健全育成事業を実施する。 児童クラブにおいては支援員を安定的に確保し、増員することにより、きめ細かな見守りを行い、放課後や学校休業日の児童の安心・安全な居場所を確保する。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域、中央児童センターと連携し、児童センター、放課後児童クラブの円滑な運営を行っている。 児童クラブにおいては、児童が安全に放課後を過ごすことができ、保護者が安心して就労できる管理運営を行っている。 市担当者が所長会や厚生委員会に出席し、市の指示や情報共有を行っている。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 統括責任者の配置により、現場への丁寧な指示、指導が効率的に行われている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 毎月の月次報告や、随時の現場訪問により、管理運営が適切に行われていることを確認した。 指定管理者への市の指示伝達や情報共有を丁寧に行った。 児童センター午前中の未就学児受入に関して充実を図るため、子育て支援センター・中央児童センター職員との情報交換や研修を実施することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>児童クラブ事業は指定管理者により円滑に運営できている。2024年度からは夏休みなどの長期休業中の昼食の注文を可能にして、これまで弁当を用意していた保護者の負担軽減を図る。</p>		<p>指定管理者との連携をより強化する中で、児童センターは、市が目指す切れ目のない子育て支援における地域拠点施設としての機能充実を図り、児童クラブは、需要の伸び又多様な児童への対応に対し適正な職員の確保・配置が行われた。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	15067 児童クラブ運営事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費					
	事業	030000 児童クラブ運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
留守家庭児童に放課後の安心・安全な居場所を提供する。				<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業の実施 ・民間児童クラブに放課後児童クラブの運営を委託。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの登録や利用料の徴収、指定管理者委託業務外の施設の維持管理や備品購入、民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託等を行い、事業の円滑な実施を図ることができた。	放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの登録や利用料の徴収、指定管理者委託業務外の施設の維持管理や備品購入、民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託等を行い、事業の円滑な実施を図ることができた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの登録や利用料の徴収、指定管理者委託業務外の施設の維持管理や備品購入、民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託等を行い、事業の円滑な実施を図ることができた。	放課後児童健全育成事業として、放課後児童クラブの登録や利用料の徴収、指定管理者委託業務外の施設の維持管理や備品購入、民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託等を行い、事業の円滑な実施を図ることができた。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業の実施 ・放課後児童クラブの登録、利用料の徴収 ・指定管理者委託業務外の施設の維持管理、備品購入 ・民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業の実施 ・放課後児童クラブの登録、利用料の徴収 ・指定管理者委託業務外の施設の維持管理、備品購入 ・民間児童クラブへの放課後児童クラブの運営委託

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		29,022	28,238
特定財源	国庫支出金	7,686	7,732
	都道府県支出金	7,686	7,732
	地方債	0	0
	その他	2	0
一般財源		13,648	12,774
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.4	0.4
人員コスト	正規職員	2,814.8	2,814.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	707.6	707.6
	計	3,522.4	3,522.4
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		32,544.4	31,760.4

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	755	消耗品費20、修繕料735
12節 委託費	24,530	学童保育システム委託料349、民間児童クラブ事業委託料23,681、害虫駆除委託料500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,737	手数料51、通信運搬費47、借上料1,320、システム使用料824、東部地域児童クラブ受託負担金返還金325、子ども子育て支援交付金返還金1170

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,383	消耗品費30、食糧費3、修繕料1,350
12節 委託費	24,560	学童保育システム委託料349、民間児童クラブ事業委託料（2か所）24,211
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,295	通信運搬費70、手数料73、借上料1,320、システム使用料832

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業の放課後児童健全育成事業を推進する。 児童クラブの登録や、利用料の徴収を行う。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 児童が安全に放課後を過ごすことができ、保護者が安心して就労することができる。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの管理運営を指定管理者に委託したことにより、市の業務をその監督や、児童の登録事務等に集約し、業務のスリム化を図る。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブの登録等について、指定管理者と連携し円滑に進めることができた。 未納となった利用料の徴収について、適切な督促等を行い、年度内の徴収を行うことができた。 指定管理者業務以外の施設の維持管理を適切に行うことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>児童クラブの登録業務、利用料の適切な徴収など、指定管理業務以外の児童クラブの運営に関する業務について、条例や指定管理者との契約に基づき、適切に事務を進める。</p>		<p>利用案内を一部分かり易く見直しより適切な利用に繋がっている。利用者の需要が伸びており一部施設の拡充が喫緊の課題となっている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小泉 敦
	全体計画			経費区分	-	内線	3613
事務事業名	15068 児童センター管理事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費					
	事業	040000 児童センター管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
児童健全育成事業を行い、健全な遊びの場、安全な居場所を提供する。				児童センター施設の維持管理			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行い、適切な維持管理を行った。	予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行い、適切な維持管理を行った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行い、適切な維持管理を行った。	予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行い、適切な維持管理を行う。	予算の範囲内で、中央児童センターと、南部児童センター、東部児童センター、北部児童センターの指定管理者委託業務外の施設維持管理を行い、適切な維持管理を行う。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 予算
事業費		1,108	2,119
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,108	2,119
人員数(人)	正規職員	0.4	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	2,814.8	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	2,991.7	2,288.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,099.7	4,407.0

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	683	燃料費150、光熱水費373、修繕料160
12節 委託費	72	保守委託料(中央印刷機再リース)72
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	353	手数料200、機器賃借料49、備品購入費104

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,726	燃料費260、光熱水費466、修繕料1,000
12節 委託費	72	印刷機年間保守料72
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	321	手数料262、機器賃借料49、原材料費10

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安心・安全な居場所を確保するため、適切な施設の維持管理を行う。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕を行う。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 予算の範囲内の維持管理を行っている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<p>予算の範囲内で、施設の維持管理等を適切に行った。</p>

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
児童センターの維持管理に必要な事業について、法令及び指定管理者との契約に基づき適切に実施する。		物価高騰による維持管理費や施設の老朽化による修繕に係る経費が増加している。 市が目指す切れ目のない子育て支援においては、地域における子育て支援拠点施設としての役割は重要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	15069 児童センター運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費											
	事業	050000 児童センター運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
児童健全育成事業を行い、健全な遊びの場、安全な居場所を提供する。						児童健全育成事業の実施 中央児童センターの運営							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中央児童センターにおいて、健全な遊びの場、安全な居場所の提供が図られた。また、指定管理者に管理運営を委託した3センターと連携した子育て支援事業を行った。	中央児童センターにおいて、健全な遊びの場、安全な居場所の提供が図られた。また、指定管理者に管理運営を委託した3センターと連携した子育て支援事業を行った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
中央児童センターにおいて、健全な遊びの場、安全な居場所の提供が図られた。また、指定管理者に管理運営を委託した3センターと連携した子育て支援事業を行った。	中央児童センターにおいて、健全な遊びの場、安全な居場所を提供する。また、指定管理者に管理運営を委託した3センターと連携した子育て支援事業を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
中央児童センターの遊具室にエアコンを導入する等、健全な遊びの場、安全な居場所の提供を図る。また、4児童センターと、子育て支援センターを含めた5センターで連携した子育て支援事業を行う。	中央児童センターにおいて、健全な遊びの場、安全な居場所の提供を図る。また、4児童センターと、子育て支援センターを含めた5センターで連携した子育て支援事業を行う。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		9,020	15,084
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	3,200
	その他	0	0
一般財源		9,020	11,884
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	2,814.8	2,814.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	176.9	176.9
	計	2,991.7	2,991.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,011.7	18,075.7

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	トランポリン教室講師謝礼30
10節 需用費	350	消耗品費332、食糧費16、医薬材料費2、
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	会議出席負担金20
その他	8,620	報酬1,439、給料4,996、職員手当994、共済費1,064、旅費40、通信運搬費43、保険料44

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	49	講師謝礼45、謝礼4
10節 需用費	355	消耗品費330、食糧費20、医薬材料費5
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	48	会議出席負担金48
その他	14,632	報酬1,925、給料5,132、職員手当2,212、共済費1,441、旅費223、通信運搬費55、保険料44、備品購入費3,600

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 児童の健康増進と豊かな情操を育むため、児童に健全な遊びと安全な居場所を提供し、健全育成を図る。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 児童に対し、健全な遊びの場と安全な居場所を提供する。 指定管理者に管理運営を委託した南部、東部、北部児童センターと連携しながら、未就園児とその保護者に午前中開放し、集まりの場として子育て支援事業を実施する。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に管理運営を委託した3センターと合同の所長会、厚生員会を行う。 指定管理者の行う研修に参加する。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 児童に健全な遊び場、安全な居場所の提供が図られた。 指定管理者に管理運営を委託した3センターと連携した子育て支援事業を行い、未就園児とその保護者の支援が図られた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>中央児童センターの遊具室にエアコンを導入して、施設的环境を充実する。また、4児童センターと子育て支援センターで合同研修会を実施したり、お互いの事業を共有したりして、子育て中の保護者を支援する連携体制を充実する。</p>		<p>地域の子育て支援拠点施設として利用実績を上げており、子育て世代から支持されている施設である。また、市内児童センター・子育て支援センター連携のリーダー的な役割を担い、子育て支援施設全体の機能向上を図っている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3613
事務事業名	17177 児童センター整備事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費										
	事業	060000 児童センター整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
児童センターの施設整備及び環境整備を行い、安心安全な児童の健全育成を実施する。						中央児童センターは土の駐車場で、雨が降ると水がたまり、小さい子を抱えた親は利用時に苦勞している。利用者の利便性を高めて、利用率を高めるために駐車場の舗装を行うもの。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
	児童センターの環境整備を行い、安心安全な児童の健全育成を実施した。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
児童センターの環境整備を行い、安心安全な児童の健全育成を実施する。	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		2,101	33,472
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	29,900
	その他	0	0
一般財源		2,101	3,572
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	703.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	703.7
市民一人当たりの経費		0.0	0.7
総額		2,101.0	34,175.7

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	2,101	南部児童センター駐車場舗装工事 2,101
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,790	南部児童センタートイレ等改修工事設計業務委託1,790
14節 工事請負費	31,500	南部児童センタートイレ等改修工事31,500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	182	手数料182

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 南部児童センターの砂利の駐車場に穴があり、雨が降ると湖ようになっていた。 利用する保護者から舗装の要望があった。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して駐車場を利用できるようになった。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減は図られなかったが、保護者の利便性は向上した。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

簡易舗装を行ったことで、保護者が安心して駐車場を利用できるようになった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

利用しやすい環境を整備し、利用者の利便性を向上する。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

施設の老朽化が課題であるが、現有施設を改修して活用していく方針。利用者の安全・安心を図るため環境整備が必要となる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小泉 敦
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	
事務事業名	18255 児童クラブ施設整備事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童福祉等施設費									
	事業	080000 児童クラブ施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
放課後児童クラブの施設整備及び環境整備を行い、安心安全な児童の放課後健全育成を実施する。						井上地域児童クラブは、登録児童数が多く利用率も高いため、活動場所が不足している。更に今後の利用者は増える見込みであるため、現施設では対応できない事態も発生する可能性があることから、広い面積確保のため新築して移転を行うものである。 なお、新築建物は井上地域公民館との併設を予定。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	0
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	—
評価コメント		
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	—
評価コメント		
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	—
評価コメント		

振り返り（決算年度の取組み課題）

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	—	次年度以降の方向性	—
総合評価コメント		2次評価コメント	

2次評価**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	丸山
	全体計画			経費区分	部局長裁量枠	内線	3312
事務事業名	4080 母子・父子家庭支援事業						
所 属	100100 健康福祉部・福祉課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030206 民生費・児童福祉費・母子・父子福祉費					
	事業	010000 母子・父子家庭支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
母子・父子家庭の福祉の推進を積極的に行うことにより地域福祉の向上を図る。				母子・父子自立支援員を設置し、母子、父子家庭の生活全般にわたる相談と自立に必要な指導助言を行う。母子、父子の職業能力の開発のため、講座修了者に支援を行う等母子、父子家庭への支援を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子家庭数 571世帯 ・ 母子家庭高等職業訓練促進費給付 1人1,200,000円 ・ 入所施設措置費 1世帯 1,111,895円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子家庭数 582世帯 ・ 母子家庭高等職業訓練促進費給付 2人2,930,000円 ・ 入所施設措置費 1世帯 3,717,069円
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子家庭数 554世帯 ・ 母子家庭高等職業訓練促進費給付 1,680,000円 ・ 入所施設措置費 1世帯 6,399,059円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子家庭数 557世帯 ・ 入所施設措置費 1世帯 5,027,197円 ・ 村石母子父子家庭特別奨学給付金 1,000,000円
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子父子家庭数 557世帯 ・ 入所施設措置費 1世帯 5,722,000円 ・ 村石母子父子家庭特別奨学給付金 1,000,000円 	

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		11,135	15,275
特定財源	国庫支出金	2,829	5,371
	都道府県支出金	1,330	1,430
	地方債	0	0
	その他	1,004	1,001
一般財源		5,972	7,473
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,111.1	1,407.4
	会計年度(フル)	3,581.0	3,581.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,692.1	4,988.4
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		16,827.1	20,263.4

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9	消耗品費9
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	724	親子の集い621 公正証書作成補助101
その他	10,402	母子生活支援施設入所委託料5,318 村石母子父子家庭特別奨学給付金1,000 その他4,084

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	10	消耗品費10
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	909	負担金3 親子の集い補助金771 公正証書作成補助135
その他	14,356	母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金1,930 母子生活支援施設入所委託料5,722 村石母子奨学給付金1,000 その他5,704

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	ひとり親家庭の相談窓口として母子・父子自立支援員を設置。子育て・生活に関する内容等について相談体制を整備し、給付金や貸付、奨学金など様々な経済的支援制度を活用しながら自立支援を行うため、必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	母子・父子家庭の相談業務を積極的に行っており、特に離婚前やひとり親になって間もない段階からの支援提供を行うなど、市民生活上の課題解決に貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	補助事業を活用し、事業を実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

母子・父子家庭の相談業務を積極的に行い、資金貸付等生活支援等を行った。養育費の取決め内容に係る公正証書等の作成費用の一部を補助し、養育費の継続した履行確保を図るなど、離婚前やひとり親になって間もない段階からの支援提供を行った。須坂市村石母子、父子家庭特別奨学金給付基金を活用し、能力があるにもかかわらず経済的理由により大学等への進学が困難なひとり親家庭の学生への支援を図った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

母子・父子家庭の経済的支援、相談業務などに取り組んでいる。利用が少ない事業などがあるため、今後、市ホームページの掲載、わかりやすいチラシの作成など周知方法を見直す。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

母子・父子家庭の経済的支援、相談業務などに継続して取り組む。奨学金については、申請件数が増えており、自立支援として効果的であり重要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	窪田
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	12161 親子通園施設管理事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030207 民生費・児童福祉費・親子通園施設費										
	事業	010000 親子通園施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
親子通園施設くれよんの適切な施設管理						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童に対して個別指導を行い、児童の育成を促すとともに、保護者への子育て支援を行うための親子通園施設の適正な管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
保育室・訓練室カーペットクリーニング	保育室・訓練室カーペットクリーニング
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
保育室・訓練室カーペットクリーニング	保育室・訓練室カーペットクリーニング
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
保育室・訓練室カーペットクリーニング	保育室・訓練室カーペットクリーニング

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		203	265
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		203	265
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.3
	会計年度(パート)	0.7	0.3
人員コスト	正規職員	1,407.4	1,407.4
	会計年度(フル)	0.0	1,074.3
	会計年度(パート)	1,238.3	530.7
	計	2,645.7	3,012.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		2,848.7	3,277.4

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	147	ガス料67、上下水道料68 その他12
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	56	保育室・訓練室カーペットクリーニング、ピアノ調律56

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	199	ガス料111、上下水道料66、修繕料22
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	66	保育室・訓練室カーペットクリーニング、ピアノ調律56 材料費等10

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	子どもが利用する施設として、適切な環境を整えておくことが必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	概ね成果を達成した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	最低限の費用で実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）

年数も経過し、備品などについて更新のようする設備などについて検討する必要がある

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

親子の通所施設として、適切な対応と支援をしていく。
。子育て家庭への支援は、国全体としての取り組みとなっている。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

支援を必要とする親子のための通所施設として、安全安心な施設の管理運営を実施していく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	窪田
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	12178 親子通園事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030207 民生費・児童福祉費・親子通園施設費										
	事業	020000 親子通園事業										
事業目的						事業概要・効果						
心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童が、保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い育成を促すことができた。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
機能訓練、生活指導、保護者支援	機能訓練、生活指導、保護者支援
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
機能訓練、生活指導、保護者支援	機能訓練、生活指導、保護者支援
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
機能訓練、生活指導、保護者支援	機能訓練、生活指導、保護者支援

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和5年度 決 算	令和6年度 予 算
事業費		4,449	5,715
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,449	5,715
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.5
	会計年度(パート)	1.3	0.7
人員コスト	正規職員	2,111.1	1,407.4
	会計年度(フル)	0.0	1,790.5
	会計年度(パート)	2,299.7	1,238.3
	計	4,410.8	4,436.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,859.8	10,151.2

(単位：千円)

令和5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	音楽療法士30
10節 需用費	91	消耗品74、食糧費7、賄材料費7 医療材料費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,328	手当592、共済費601、旅費194、電話料他42、会計任用職員報酬2882、嘱託医報酬17

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	360	音楽療法120、ことばの相談室240
10節 需用費	212	消耗品189、食糧費10、賄材料10、医療材料費3
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,143	嘱託医報酬17、会計年度任用職員報酬3168、手当等892、共済費690、旅費223、役務費52、備品購入100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	発達の遅れや障害などの特性により保育や教育にすぐになじめない児童の慣らしや療育へのつなぎとして、また、保護者が子の成長を保育士など専門職とともに考え、支援を受けることの施設として不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	1年程度通うことで、保育や教育につながっている児童が多く一定の成果をあげている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	最低限の費用で実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）
保育や教育だけではなく、特性や個性を理解できる人材の要請は必須。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>親子の通所施設として、適切な対応と支援をしていく。 。子育て家庭への支援は、国全体としての取り組みとなっている。</p>		<p>通所する親子に専門的な療育や生活指導を継続して行うことで、親の安心感や子の成長を促した上で、保育・教育施設に繋げることができている。利用者が減少しているため長期的な施設の在り方については研究する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	須田
	全体計画			経費区分	部局長裁量枠	内線	3642
事務事業名	4296 幼稚園助成事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	03010900 切れ目のない子育て支援の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100501 教育費・幼稚園費・幼稚園費					
	事業	010000 幼稚園助成事業					
事業目的				事業概要・効果			
幼児教育の振興を図るため				市内の幼稚園1園及び、市外の幼稚園等へ通園している児童について、施設等利用給付費や副食費補足給付により、経済的負担軽減を図る。 また、市内の幼稚園1園及び認定こども園3園へ特別支援保育対策事業補助金を交付して特別に支援が必要な児童の受け入れの促進を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績		令和 3年度 実績	
私立幼稚園補助金	2,394,000円	私立幼稚園補助金	2,115,900円
特別支援保育対策事業補助金	3,480,000円	特別支援保育対策事業補助金	390,600円
令和 4年度 実績		令和 5年度 実績	
私立幼稚園補助金	1,025,700円	私立幼稚園補助金	993,300円
特別支援保育対策事業補助金	881,195円	特別支援保育対策事業補助金	915,839円
令和 6年度 予定		令和 7年度 予定	
私立幼稚園補助金	1,050,000円		
特別支援保育対策事業補助金	1,740,000円		

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		13,837	18,771
特定財源	国庫支出金	5,812	7,890
	都道府県支出金	2,768	4,035
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,257	6,846
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	2,111.1	2,111.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	176.9
	計	2,111.1	2,288.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		15,948.1	21,059.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,570	私立幼稚園補助金993、特別支援対策事業補助金916 施設等利用給付費10,089、副食費補足給付費221、環境改善事業補助金350
その他	1,267	郵便料8、返還金1,259

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	18,750	私立幼稚園補助金1,050、特別支援対策事業補助金1,740 施設等利用給付費15,420、副食費補足給付費540
その他	21	郵便料21

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	公立の幼児教育施設がなく、幼児教育推進のために私立幼児教育施設への支援は必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	私立幼稚園等の安定的な運営が図られ、保育事業ではカバーできない保護者ニーズに対応することができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	民間幼児教育施設による運営は効率的であり、補助基準が定められているためコスト削減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

幼児教育施設へ入所する児童は年々減少しているが、保育事業ではカバーできない幼児教育へのニーズに対応することは今後も必要不可欠。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
子育て家庭のニーズは多様化しており、継続的な取り組みが必要		公立で実施していない幼児教育へのニーズに対応するため、民間幼児教育施設維持のために継続した支援が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	